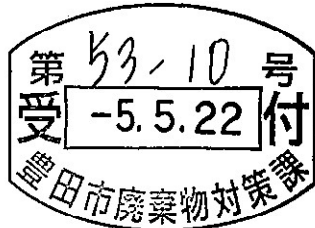


産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 30日

豊田市長 殿



提出者

住 所 愛知県豊田市渡刈町下糟目146番地
氏 名 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社
豊田事業所 所長 宮澤 敏孝
電話番号 0565-25-9335

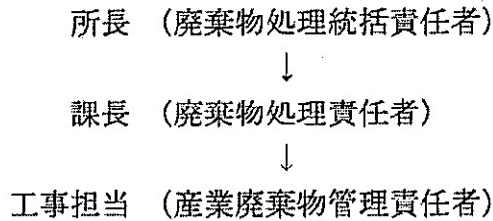
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社 豊田事業所
事業場の所在地	愛知県豊田市渡刈町下糟目146番地
計画期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：315,000万円
③従業員数	60人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・木くず→再生処理業者に委託し、破砕された後、燃料等再生資源化・木くず→再生処理業者に委託し、破砕された後、堆肥として再生資源化及び埋立・汚泥→再生処理業者に委託し、脱水固化後、再生資源化及び埋立・がれき類→再生処理業者に委託し、破砕された後、再生資源化・混合物→再生処理業者に委託し、選別・破砕された後、再生資源化及び埋立・廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、破砕された後、サーマルサイクルとして再生資源化及び埋立処分・廃油→再生処理業者に委託し、油水分離後、再燃料化及び焼却・埋立処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t t
	(これまでに実施した取組) ・ 過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・ 雑草及び雑木の育成・抑制工事 (マルチング・コンクリートシート工) ・ 排水設備の修繕 (排水を良くすることにより集積量を減らす)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t t
	(今後実施する予定の取組) ・ 従前の取組を継続実施していく ・ マルチング及びコンクリートシール工を継続して行う ・ 排水設備の修繕を継続して行う		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃油、廃プラスチック類、金属くず、がれき類はそれぞれ分別し、保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 従前の取組を継続実施していく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙の通り t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	別紙の通り t t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り t t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・ 出来る限り再生利用業者に処理委託を行い、処分量の軽減をはかる 	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
(今後実施する予定の取組)			
・従前の取り組みを継続し総排出量に対する再生施設への搬出量の割合を増加し、再生資源化率を高める			
※事務処理欄			

【第2面】別紙

産業廃棄物の排出の動向に関する事項							
①現状	【前年度（2022年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	t/種類	汚泥類(汚泥・建設汚泥)	混合汚泥(混合汚泥・混合汚泥・汚泥類)	廃プラスチック類(廃プラスチック類・廃材)	木くず	廃油類(廃油・汚泥)
	排出量	674.72 t	161.94 t	96.11 t	78.33 t	1,289.12 t	1.44 t
(これまでに実施した取組) ・過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・雑草及び雑木の育成・抑制工事（マルチング・コンクリートシート工） ・排水設備の修繕（排水を良くすることにより集積量を減らす）							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	t/種類	汚泥類(汚泥・建設汚泥)	混合汚泥(混合汚泥・混合汚泥・汚泥類)	廃プラスチック類(廃プラスチック類・廃材)	木くず	廃油類(廃油・汚泥)
	排出量	607 t	145 t	86 t	70 t	1,160 t	1 t
(今後実施する予定の取組) ・従前の取組を継続実施していく ・マルチング及びコンクリートシート工を継続して行う ・排水設備の修繕を継続して行う							

【第4面】別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（2022年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	t/種類	汚泥類(汚泥・建設汚泥)	混合汚泥(混合汚泥・混合汚泥・汚泥類)	廃プラスチック類(廃プラスチック類・廃材)	木くず	廃油類(廃油・汚泥)
	全処理委託量	674.72 t	161.94 t	96.44 t	78.33 t	1,289.12 t	1.44 t
	再生利用業者への処理委託量	56.29 t	20.51 t	0.63 t		726.09 t	1.44 t
	再生利用業者への処理委託量	618.43 t	141.43 t	95.81 t	78.33 t	563.03 t	0.00 t
	指定処理業者への処理委託量						
	指定処理業者への処理委託量						
(これまでに実施した取組) ・過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・出来る限り再生利用業者に処理委託を行い、処分量の削減を図る							

【第5面】別紙

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	t/種類	汚泥類(汚泥・建設汚泥)	混合汚泥(混合汚泥・混合汚泥・汚泥類)	廃プラスチック類(廃プラスチック類・廃材)	木くず	廃油類(廃油・汚泥)
	全処理委託量	607 t	145 t	86 t	70 t	1,160 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	56 t	18 t	0 t	0 t	653 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	551 t	127 t	86 t	70 t	507 t	0 t
	指定処理業者への処理委託量						
	指定処理業者への処理委託量						
(今後実施する予定の取組) ・従前の取り組みを継続し、総排出量に対する再生施設への搬出量の割合を増加し、再生資源化率を高める							

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。